

令和7年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 9
ID 100603

【施設状況】

グループ名称	信州新町授産センター										
指定管理者名	労働者協同組合 ワーカーズコープ・センター事業団					法人番号	3013305000743				
所管課	主	100600	福祉政策課	副							
構成施設	1369	信州新町授産センター									
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制		
施設概要	社会事業授産施設 【施設本体】鉄骨造平屋建 延床面積765.00㎡ 作業室、休憩室(食堂)、更衣室、事務室 【倉庫】木造平屋建 延床面積19.87㎡										
施設設置目的	身体上若しくは精神上の理由又は世帯の事情等により就業能力の限られている者に対して、就労又は技能の修得のため必要な機会及び便宜を与えて、その自立を助長することを目的とする。										
基本方針等	身体上若しくは精神上の理由又は世帯の事情等により就業能力の限られている者に、より良い就労環境と機会を与え、障害のあるなしに関わらず施設利用者の枠を超えて交流できる、地域に根ざした施設となることを目指す。										
主な実施事業	社会事業授産施設 民間企業から作業を受託し、その受託作業に係る収入を工賃として支払うことにより、通常の雇用契約による就業が困難な施設利用者の自立の助長を図る。										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	労働者協同組合 ワーカーズコープ・センター事業団				当該指定管理者の 指定回数	3 回
指定期間	令和3年4月1日	～	令和8年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成23年4月1日
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年比	評価
	授産施設(利用者月平均)	人	22	21	20	19	95%	
(特記事項) 生活保護法の規定による要保護者、障害者の技能修得・就労の機会の提供を目的とする施設であり、定員に余裕があるときは、一般の利用者を受け入れることができる。定員30人								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	・授産施設の事業実施に関する業務 ・授産施設の利用許可・条件付与・許可取消しに関する業務 ・授産施設の施設及び設備の維持管理に関する業務 ・授産施設の利用料金の収受、割引等に関する業務 ・授産施設の効用を増加させる自主事業に関する業務			4			
	自主事業	①次亜塩素酸水(クリーンキラー-A)製造販売 ②鹿革鞣し、販売 ③間伐材による木工品の企画制作 ④杉アロマオイル製造 ⑤楼閣梅園祭りへの出店 ⑥新町フェスタへの出店 ⑦新町林業体験交流会への参加 ⑧農業体験・販売						
サービス維持・向上の取組み(広報等)		・地区内の企業・団体等と連携しながら、利用者の収入増につなげるため、自主事業の拡大に努めた。 ・利用者を対象に健康相談や血圧測定を行った。また、必要に応じ、買い物や通院への付き添いを行った。 ・独居の利用者の体調不良時には、必要に応じ、自宅訪問を行った。 ・施設-信州新町市街地間の送迎を行った。						

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	3
		(2) 調査、会議等の内容 ・作業時間、休憩時間を問わず、日々の利用者との会話の中で、利用者の要望を把握している。 ・障がいを持つ利用者には間違った受け止めをされないよう丁寧な会話を心掛けている。 ・グループホームや保健師等と連携し、利用者の特性の把握にも努めている。		
		(3) 調査、会議等の結果 ・気軽な雰囲気の中で発せられる利用者からの率直な意見や困りごとを把握、これらについて、職員会議等において、職員間で情報共有を図った。		
利用者からの要望・苦情等	(1) 良好とする評価 できる仕事を与えてもらったことでやりがいにつながった。			
	(2) 苦情・改善等の要望事項 ・利用者から「やりたくない仕事をやらされてる」という声があった。 ・精神に問題を抱えている利用者が室内作業ができない。			
	≪対応措置≫ 屋内作業と屋外作業など、作業環境や内容に幅をもたせることで、やりがいにつながった。			

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和7年度)				市の収支				評価			
		年度計画額		収支実績額			令和7年度決算			令和6年度決算(前年度)		
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額	
事業収支 (単位:円)	指定事業	利用料金		利用料金		歳入	使用料		使用料	0	3	
		指定管理料	25,456,000	指定管理料	25,456,000		雑(納付金)		雑(納付金)	0		
		委託料		委託料			行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	0		
		販売収入等		販売収入等			貸付料		貸付料	0		
		その他収入	901,000	その他収入	745,435		その他		その他	0		
		作業収入	4,200,000	作業収入	3,487,121		利益配分		利益配分	0		
		就労奨励費	135,000	就労奨励費	94,290		保護施設事務費負担金	23,836,050	保護施設事務費負担金	19,217,100		
		収入計	30,692,000	収入計	29,782,846		計	23,836,050	計	19,217,100		
		人件費	18,000,000	人件費	16,940,358	歳出	指定管理料	25,456,000	指定管理料	25,361,000		
		設備管理費	282,000	設備管理費	286,158		委託料	0	委託料	0		
		備品購入費	0	備品購入費			需用費	0	需用費	0		
		修繕費	100,000	修繕費	279,320		役務費	17,545	役務費	16,787		
		光熱水費	1,350,000	光熱水費	1,406,480		使用料・賃借料	546,480	使用料・賃借料	546,480		
		事業費	1,655,000	事業費	2,180,761		修繕費	1,199,000	修繕費	0		
	事務経費	1,178,000	事務経費	1,036,884	工事請負費		0	工事請負費	0			
	本社経費	3,792,000	本社経費	3,792,000	備品購入費		0	備品購入費	0			
	その他	4,335,000	その他	3,581,411	その他	0	その他					
	利益配分		利益配分		計	27,219,025	計	25,924,267				
	支出計	30,692,000	支出計	29,503,372								
	指定事業損益	0	指定事業損益	279,474								
	利益配分を除く 指定事業損益	0	利益配分を除く 指定事業損益	279,474								
	自主事業	収入	1,154,000	収入						951,540		
		支出	630,000	支出						610,901		
		自主事業損益	524,000	自主事業損益	340,639							
	損益	524,000		620,113	差引	-3,382,975		-6,707,167				
	人件費比率【人件費(賃金等)／令和7年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)											57.4%
	本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分		確認内容	チェック欄	評価
管理運営全般	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☑	4
		配置実績 (うち市内雇用職員数) ・常勤3人 【内訳】施設責任者1人、事務員1人、指導員1人 ・非常勤2人 【内訳】指導員2人		
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☑	
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	☑	
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
	施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	☑	
2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか				
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☑		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか			

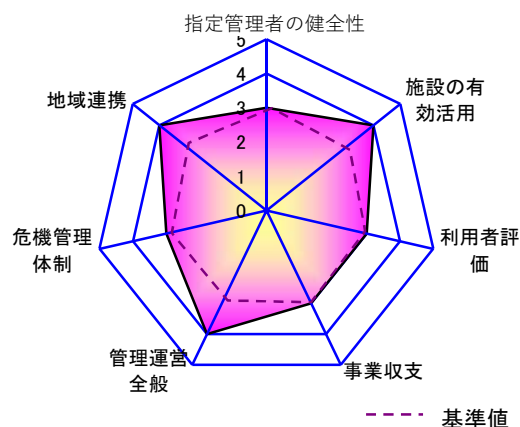
危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	4
協定内容・指定管理者提案 追加された内容、未実施の内容及びその理由	
・職員の地元(地域住民及び市内居住者)雇用 ・物品購入や修繕・業務委託に関する地元事業者の積極的活用 ・近隣諸施設の利用状況を把握し、施設利用上の協力態勢に努める。 ・障害者の雇用改善という共通の目的に向かって、他施設と連携し、地域福祉推進の一翼を担っていきたいと考えている。	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	合計得点
施設の有効活用	4	8	
利用者評価	3	12	68
事業収支	3	6	
管理運営全般	4	16	
危機管理体制	3	12	
地域連携	4	8	



評価理由	利用者1名を就労につなげた点、取引先企業と単価交渉をして工賃アップを実現した点を評価したい。そのため「管理運営全般」を4とした。 また、地域との関係づくりを重視し、地域の特徴を生かした仕事を生み出しているため、「施設の有効活用」「地域連携」について、評価を「4」とした。		
取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	施設建設から30年を経過し、適切な維持管理を行っていく必要がある。	点検で受変電設備の劣化が判明したため、R7年度に改修工事を実施	
次年度の目標・取組み等(施設所管課)	・施設建設から30年を経過し、一部施設の老朽化が見られる。施設の長寿命化のため、日々の点検等を通じて不具合箇所の早期発見に努め、基本協定に定める責任分担に基づき、計画的に修繕等を行う。		

指定管理者自己評価		
(1) 今年度の取組みに対する評価 ① サービス向上に向けての取組み ■年々多様化する利用者のニーズに柔軟に対応しています。 1. 特性に応じた仕事の創出 毎日の作業も企業から受ける仕事だけでは利用者の特性に対応出来ない為、自主事業の小農、また施設周辺の草刈り等を仕事として利用者に参加してもらう事で、特性に合った仕事の創出と地域住民との接点となり、感謝される事が利用者の自己肯定感にも繋がっています。 2. 使用者の通所・通院等移動支援 利用者の生活圏も信州新町市街地周辺から拡大しており、通所が困難な利用者の送迎や通院等の付き添い等も行います。 3. 生活に困難を抱える利用者の支援 利用者様の抱える困難は持病、住居、食事、金銭管理等、多岐にわたります。授産センターで対応出来ない事案については地域包括や児童民生委員、保健士と連携を取りながら包摂しています。 ② 業務の効率化に対する取組み 1. 配送業務の効率化 企業からの引き取り・納品を数社まとめて納品に回す事で車両の燃料代、運転手の人件費の削減に努めています。 2. 作業指導の効率化 利用者の能力に併せ指導内容を見直しています。1対1での指導から作業を任せて確認のみを指導員が行う指導等、職員の労働の効率化と利用者の成長を図っています。 3. 受注作業の効率化 受注した作業は確認をした上で作業の簡略化と効率化を行います。そのうえで効率の上まらない作業については単価の交渉を行います。 ③ その他 サービス向上の取り組みの項目でも触れましたが、仕事だけでなく生活に困難を抱える方が増えています。昨今では、地域包括・保健士・民生委員からの地域で暮らす方の支援・相談が増えています。そういった方々の日中の支援の場所として授産センターの役割は非常に重要になって来ている事を実感する事案が多く信州新町、あるいは周辺地域の支援の中継基地的な役割も担って行けるよう今後も相談支援に真摯に向き合っていきたいと考えています。住居が決まった、仕事が決まった、居場所が出来た、やりがいが見つかった等、利用者・地域住民から喜びの声を励みに引き続き利用所・地域の支援に向き合っていきたいと考えます。		
(2) 指定管理者業務実施上の課題 これまで構築してきた関係性から施設を利用される方、ステップアップし退所される方等、必要な方が必要な時に利用できる施設として必要とされていますが、仕事の幅はまだ十分とは言えません。今後、若い利用者が興味・意欲が持てるような仕事、能力の高い利用者に見合った工賃を受け取れる仕事を検討・開拓する必要があります。		
(3) 総合評価 評価基準 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る	指定管理者 自己総合評価	B
① 評価理由 ・利用者の安心安全を確保しながら1年間大事なく過ごせ、施設の維持管理も1年間計画通りに行えました。 ・自主事業も計画とは違いましたが、他事業者と連携したソルガム栽培は小学校でも学校給食で使用して頂き、良い評価もいただきました。 ・今年度は4名の新規利用者を迎え、1名を就労に繋げられました。地域や関係各所との関係も良好に保てており、次年度以降も新たな連携が生まれると思われれます。そういった実践から当法人として上記の自己評価とします。 ② 次年度以降の取組み 利用者については、生活に困難を抱える人の相談が増えてくる中で今後更に多様な対応が求められます。現状の体制ではまだまだ十分な対応が出来るとは言えませんが、今後も関係機関と連携を深めていきたいと考えます。自主事業についても引き続きソルガム栽培と販売を行いながら、ほかの生産者とソルガムの普及に努める事で利用者や地域に還元できるような事業拡大を進めたいと考えます。		